

単結晶 X 線構造解析装置 Rigaku Saturn724R



装置名：単結晶 X 線構造解析装置 **Rigaku Saturn724R**

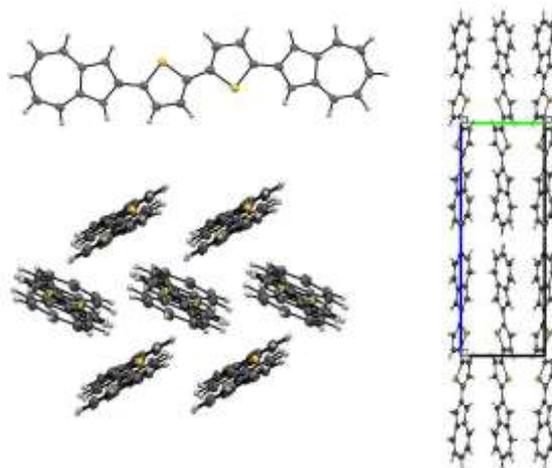
管理者：片桐洋史

仕様：回転対陰極 (Mo)、CCD 検出器、吹き付け低温装置(-190 °C)。

用途：有機結晶、無機結晶、金属錯体分子の単結晶構造解析。

測定例：有機半導体材料の単結晶構造解析

分子はほぼ平面構造であり、キャリアの移動に有利なヘリンボーン(ニシンの骨)パッキング構造を形成しています。実際にこの分子は p 型半導体特性を示すことが明らかになりました。



試料：DAzBT

空間群： $P21/n$

格子定数： $a = 6.055(6) \text{ \AA}$, $b = 7.542(8) \text{ \AA}$, $c = 21.60(2) \text{ \AA}$, $\beta = 95.65(2)^\circ$

Organic Letters, **2012**, *14* (9), 2316–2319.